

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 4 部門第 1 区分
【発行日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【公開番号】特開2018-48518(P2018-48518A)
【公開日】平成30年3月29日(2018.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2018-012
【出願番号】特願2016-185929(P2016-185929)
【国際特許分類】

E 0 3 D 11/08 (2006.01)

E 0 3 D 11/02 (2006.01)

【F I】

E 0 3 D 11/08

E 0 3 D 11/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月29日(2018.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

洗浄水源から供給される洗浄水によって洗浄されて汚物を排出する水洗大便器であって、

ボウル形状の汚物受け面と、この汚物受け面の上縁部に形成されるリム部と、を備えたボウル部と、

このボウル部の下方に接続されて汚物を排出する排水路と、

上記リム部に設けられて上記ボウル部に洗浄水を吐水して旋回流を形成するリム吐水部と、を有し、

上記ボウル部は、さらに、上記汚物受け面の上縁部と上記リム部の下端部との間に上記リム吐水部から周方向に形成され且つ上記リム吐水部から吐水された洗浄水を周方向に導く棚部を備えており、

上記リム吐水部は、上記ボウル部における中心に対して左右側の側方側領域又は上記ボウル部における中心に対して前方側の前方側領域の左右いずれかのリム部に設けられて洗浄水を後方に吐水するリム吐水口を形成し、

上記棚部の幅は、上記ボウル部の側方から後方につれて小さくなるように設定されていることを特徴とする水洗大便器。

【請求項 2】

上記ボウル部は、さらに、上記リム部の下端部と上記棚部の外縁部との間を曲面にて連結する外側連結部を備えており、この外側連結部の曲面の上下方向の曲率半径は、上記ボウル部の側方から後方につれて大きくなるように設定されている請求項 1 記載の水洗大便器。

【請求項 3】

上記ボウル部の中心に対して左右対称の位置における上記外側連結部の曲面の上下方向の曲率半径は、上記ボウル部の側方側領域の内の上記リム吐水口が形成されている一方側の領域の方が、上記リム吐水口が形成されていない他方側の領域よりも大きくなるように設定されている請求項 2 記載の水洗大便器。

【請求項 4】

上記ボウル部は、さらに、上記リム部の下端部と上記棚部の外縁部との間を曲面にて連結する外側連結部を備えており、この外側連結部の曲面の上下方向の曲率半径は、上記ボウル部の側方から後方までほぼ一定になるように設定されている請求項 1 記載の水洗大便器。

【請求項 5】

上記ボウル部は、さらに、上記棚部の内縁部と上記汚物受け面の上縁部との間を曲面にて連結する内側連結部を備えており、この内側連結部の曲面の上下方向の曲率半径は、上記ボウル部の側方から後方につれて大きくなるように設定されている請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の水洗大便器。

【請求項 6】

上記棚部は、上記ボウル部内の外側から内側に向かって下り傾斜する傾斜面を備えており、この傾斜面の傾斜角度は、上記ボウル部の側方から後方に位置するにつれて大きくなるように設定されている請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の水洗大便器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述した課題を解決するために、本発明は、洗浄水源から供給される洗浄水によって洗浄されて汚物を排出する水洗大便器であって、ボウル形状の汚物受け面と、この汚物受け面の上縁部に形成されるリム部と、を備えたボウル部と、このボウル部の下方に接続されて汚物を排出する排水路と、上記リム部に設けられて上記ボウル部に洗浄水を吐水して旋回流を形成するリム吐水部と、を有し、上記ボウル部は、さらに、上記汚物受け面の上縁部と上記リム部の下端部との間に上記リム吐水部から周方向に形成され且つ上記リム吐水部から吐水された洗浄水を周方向に導く棚部を備えており、上記リム吐水部は、上記ボウル部における中心に対して左右側の側方側領域又は上記ボウル部における中心に対して前方側の前方側領域の左右いずれかのリム部に設けられて洗浄水を後方に吐水するリム吐水口を形成し、上記棚部の幅は、上記ボウル部の側方から後方につれて小さくなるように設定されていることを特徴としている。

このように構成された本発明においては、ボウル部の側方側領域又は前方側領域の左右いずれかのリム部に設けられたリム吐水部のリム吐水口から後方に吐水された洗浄水は、棚部上に沿って流れることによりボウル部の周方向に導かれて旋回する流れ（旋回流）を形成する。この際、棚部の幅がボウル部の側方から後方につれて小さくなるように設定されているため、リム吐水口から後方に吐水された洗浄水は、ボウル部の側方から後方の棚部に差し掛かると、幅が比較的小さい棚部からボウル部内の後方領域にスムーズに流れ込むことができる。したがって、汚物が付着し易く且つ洗浄がし難いとされるボウル部内の後方領域について、十分に洗い流すことができ、洗浄性を高めることができる。